



# 朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子  
～ 豊かな学びで社会に向けて希望を持った児童がそろう学校～

朝霞市立朝霞第十小学校  
発行日 令和7年7月1日  
〒351-0023  
朝霞市溝沼828-1  
TEL 048-469-5443  
在籍児童数 689名

## どきどき、わくわくがいっぱいの子供たちと

校長 宮腰高子

早いもので、1学期も7月を迎え、まとめの時期となりました。1年生が育てている朝顔もぐんぐんつるが伸び、きれいな大輪の花を咲かせ始めています。

先日は、学校公開と引取訓練にご参加いただきありがとうございました。また、感想用紙のご提出もありがとうございます。一枚一枚を有難いという気持ちで読ませていただいているところです。

さて、毎日起きる様々な出来事に対して、大人は「大変だ」とか「困ったな」等マイナスにとらえがちです。でも、子供たちにとっては、毎日起こる出来事は新鮮で、どきどき、わくわくすることのようです。どきどき、わくわくすることは個々それぞれです。

十小で最近出くわしたどきどき、わくわくシーンを二つ紹介させていただきます。一つ目、雨上がりの良く晴れた朝のことです。校門付近には沢山何かが落ちていました。正体はミミズ。日差しにやられてかりかりになっていました。登校してきた子供たちの反応は様々です。もちろん何も気にしない子もいましたが、ミミズの多さに声を上げる子、踏まないように工夫して歩く子、踏みたくなくてこわごわ歩く子、蹴とばして歩く子、数えだす子、気が付かないで踏んでしまい叫ぶ子、大騒ぎでした。二つ目、その日の20分休みに職員室に子供たちの大きな声が響きました。あまりないことです。何ごとか聞いてみると、外遊びをして良いか聞きに来たとのこと。「先生(外遊びしても)良いです

か。」「お願いします。お願いします。」とロタに言ったり、深々と頭を下げたりしています。外遊びの不可はランドコンディション(気温の高い日は暑さ指数)で決めるので「お願い」しても結果は変わりません。子供たちは「放送で報告するから、待っていてください。」と職員室から出されました。やがて、職員室より「外遊びをしても良い」旨の放送が流れると、先程の子供たちのご機嫌な声が廊下から聞こえてきました。同時に校舎のあちらこちらからも歓声が上がりました。どうやら職員室にやってきた子供たちはほんの一部で、同じように「どうだろう」とどきどき、わくわくしていた子がたくさんいたようです。20分休みの校庭は、元気な子供たちの姿でいっぱいになりました。

どきどき、わくわくする気持ちの時は頭や心をフル回転させて事象に向かっています。この気持ちを理解し、学びにつなげていきたいです。「なぜだろう」「こうすれば上手くいくかな」と自分で課題を設定し、解決の方策を考え進んでいく学びを重ねていくことは、これからの社会で生きていくのに大切なこととされています。単なる知識の習得ではなく、子供たちが自ら問いを立て、他者と対話しながら深く考え、学びを自分の人生や社会に結びつけていく学び方です。

子供たちはその素地をもって毎日を過ごしているのですからそれを学びとしてさらに伸ばしていきたいです。では実際に、どんな授業をすれば、どんな学校づくりをすれば子供たちが伸びていくのでしょうか。私たち教職員も子供たちに負けないくらいどきどき、わくわくして子供たちを支援していきます。



【朝顔へ水やり】



【学校公開日】



学校の敷地外にある畑の使用が6月いっぱいをもって終了となりました。6月にはつばさ学級が最後の収穫(ジャガイモ)を行いました。これまで本校元校務員の中山様をはじめ、多くの皆さんに支援していただき、子供たちは貴重な収穫の体験等を行うことができました。本当にありがとうございました。今後は学校の敷地内にある畑や花壇を有効に利用しながら教育活動を進めていきます。

←【畑に育ったジャガイモの苗】